



就職は 県内？ 県外？

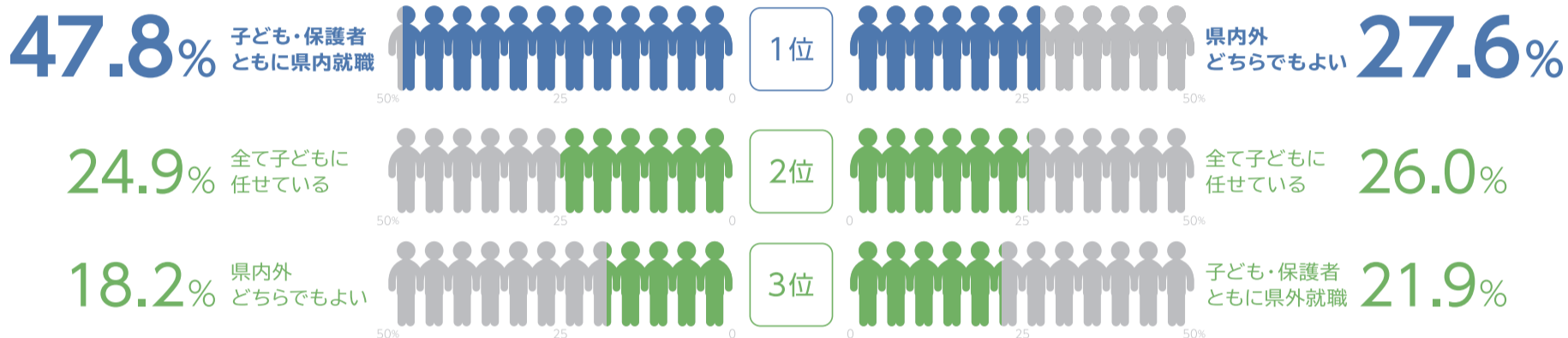


ご存じですか？ 保護者の「意識」が
子どもに影響していることを…

県内・県外就職の希望

子どもが**県内就職**の保護者

子どもが**県外就職**の保護者



保護者の意識が子どもの就職先（県内・県外）の選択に少なからず影響を与えています！

出典：青森県教育庁（平成28年度高校生の就職に関する意識調査）

「高校生の就職は地元」が
当たり前

全国の高校生の
8割が地元就職

高校生、大学生の子どもをお持ちのお父さん、お母さん。子どもの成長につれて、進路について、具体的に考えることが多くなりますね。

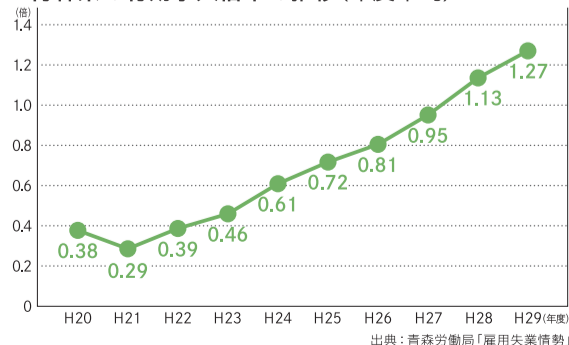
「高校を卒業したら、県外に就職する」というのは、青森県内では普通のことと思われるかもしれませんが、全国的に見ると、決して普通ではありません。今や、高校生は地元就職が当たり前。平成29年3月高等学校卒業業者（就職希望者）の県内就職率は、全国平均で81.2%。一方、青森県は57.5%で、全国44位。ちなみに岩手県は67.8%、秋田県は65.0%で、青森県より10ポイントほど高くなっています。

「青森県には仕事がない」というのは過去の話

「そんなこと言っていたって、青森県は働く場所が少ないじゃないか」と思う方もいるでしょう。

もちろん、職種、給料など、希望する条件に100%かなうものは少ないかもしれませんが、青森県では、仕事を求めている人1人に対し何人の求人があるかを示す有効求人倍率が年々上昇しており、平成21年度に0.29倍だったものが、平成29年度は過去最高の1.27倍となりました。特に、医療福祉、建設、宿泊飲食といった分野では、人手不足が続いています。「青森県には仕事がない」というのは過去の話なのです。

■青森県の有効求人倍率の推移（年度平均）



■平成29年3月卒高等学校卒業業者の都道府県別県内就職率

